

ぴか☆イチ

男女共同参画って
どういうことかな？



男性も女性も性別に関わらず、個性と意欲に応じた様々な分野で活躍できることだよ。

「参画」という言葉は単に参加するというだけでなく、方針の立案や決定などの意思決定への参加ということの意味するんだよ。



男女共同参画ってこんなこと

家庭では・・・



一人ひとりが自立しつつ、お互いに協力して家事や育児、介護などを担います。

仕事では・・・



性別にとらわれず、自分の個性と能力を発揮できる仕事を選ぶことができます。

【ぴか☆イチ目次】

- Vol.01 男女共同参画フォーラム①
- Vol.02 男女共同参画フォーラム②
- Vol.03 男女共同参画セミナー①
- Vol.04 男女共同参画セミナー②
- Vol.05 男女共同参画セミナー③

【ホームページコラムもぜひご覧ください】

古賀市のための書き下しコラム

テレビや新聞などで活躍し辛口コメントでおなじみのトコさん
「ありのままに私らしく」



父親支援のNPO法人ファザーリングジャパンを設立した安藤哲也さん
「父親であることを楽しもう」



<https://www.city.koga.fukuoka.jp/cityhall/work/community/danjocolumn/>



「ぴか☆イチ」とは、フォーラムやセミナーの内容を古賀市と古賀市男女共同参画輝きKogaネットでまとめたニュースレターです。

古賀市役所 コミュニティ推進課 男女共同参画係

〒811-3192 古賀市駅東1丁目1-1

メールアドレス danjo@city.koga.fukuoka.jp

電話 092-942-1260

FAX 092-942-1291

古賀市男女共同参画輝きKogaネットたより

ぴ か ☆ イ チ

男女共同参画フォーラム2018を開催しました①

Vol.01

2018年07月発行

古賀BGバンドのミニコンサート

リーパスプラザ交流館多目的ホールにBGバンドの元気な演奏と歌声が響き渡り、フォーラムの開始を告げました。参加者の多くの方に「元気な演奏で会場の気持ちがひとつになってよかった」「大変よかった」など感想をいただきました。



古賀BGバンドのみなさん

男女共同参画に関する

標語(一行詩)最優秀賞決定

最優秀賞

〔小学校低学年部門〕

◆さん画がわたしの家そくを丸くする。

古賀東小学校 吉住百華

〔小学校高学年部門〕

◆男子も女子も同じようにチャレンジできる。ほくの学校。

花鶴小学校 月山三太

〔中学生部門〕

◆手伝った その言葉が 母まかせ

古賀東中学校 崎山春花

〔高等学校部門〕

◆みとめる、つなげる、社会と男女の輪。

古賀特別支援学校高等部 武田美羽

〔一般部門〕

◆家族みんなの 家事参画は 学ふこと多く

長寿社会の役に立つ 一般 井野口寛人

※所属は平成30年3月現在



右から井野口寛人さん、武田美羽さん、中村市長、崎山春花さん、月山三太さん

男女共同参画表彰「輝き☆KOGAびと」受賞者決定

【企業賞】 株式会社 西部技研

平成30年5月、本社内に企業保育所を開所し、女性職員のライフイベントに伴う離職対策や子育て環境の改善に取り組み、男女共同参画社会の実現に寄与している。

【団体賞】 古賀市少年の船の会

性別にかかわらず、交流を深めることで、将来のリーダー育成、女性活躍に取り組み、男女共同参画の意識や女性リーダーの育成に寄与している。



右から古賀市少年の船の会副会長高橋毅さん、中村市長、株式会社西部技研代表取締役社長隈扶三郎さん

講演

「笑顔で介護！介護で笑顔！みんなで介護を考えよう！」

講師に兵庫県西宮市で高齢者、介護者、介護従事者らの交流の場を提供し、「笑顔で介護！介護で笑顔！」を実践されている丸尾多重子さんをお招きし、自身の介護体験、交流の場である「つどい場さくらちゃん」の活動についてのお話を中心にご講演いただきました。

つどい場とは・・・

- ◆ 一人では生きていゆけないのが“ひと”。特に障がいを抱えて生きるひと、高齢者には、身近な家族・仕事で関わる人・地域の人たちのサポートが不可欠。
- ◆ 本人、介護者、介護従事者、医療者、行政、学生、地域活動者、子育て中のママ等誰でもが集える場・しゃべれる場・泣ける場・笑える場・食べる場・情報を得られる場、学べる場、共に出かける場、生きる場・・・それがつどい場。



講師：丸尾多重子さん

家族の介護

- ◆ 「阪神淡路大震災」をはさみ10年間で母（肺癌術後転移）、兄（長年の躁鬱→自死）、父（脳梗塞認知症→誤嚥性肺炎）を在宅で看取る。
- ◆ 「自分に知識と人をつなげる力があれば、父も母もあんな苦しい最後にはならなかった」と悔しかった。
- ◆ 父の死後、放心状態が半年続き、一念発起し1級ヘルパー講座を受講。
- ◆ ヘルパー講座で、泣き叫ぶおばあちゃんがストレッチャーで固定され、ホースでお湯をかけられる「機械浴」での入浴介助にキレル。
- ◆ 「つどい場をつくらなアカン！」

つどい場さくらちゃん

- ◆ 介護家族としての体験から、4つの柱を核として活動している。
 - ①つどい場：立場を越えていろんな人達がお昼ご飯を食べながら、感情の吐露と情報交換をする
 - ②おでかけタイ：からだやところが不自由になってもサポートするものがいれば、街に旅行に出かける
 - ③学びタイ：共に介護技術・制度のこと、医療のこと・ところを学び合う
 - ④見守りタイ：話を聞く・そばにひとがいることが介護予防につながる。
- ◆ 西宮市には、現在14か所のつどい場が誕生し、「笑顔で介護！介護で笑顔！」を実践している。

参加者感想

マルちゃんのお話で、私の介護生活はまだまだだと実感しました。介護する人が賢くならんといかん、その通りです。お店につれて行く、旅行にも行く、出来ない事はない、つどい場は素晴らしいです。介護で人生が豊かに。

自分自身も高齢の両親の介護経験があったため、とても共感できる話だった。また、自分の職におきかえて、生かせるものがたくさんあった。ぜひ、人を巻き込んでいける学校づくりのヒントにしていきたい。

第1回男女共同参画セミナーを開催しました！

講演

「親だからこそ知っておきたい子どもへの性の伝え方」

講師：佐藤繭子さん（助産師、福岡県立大学大学院看護学研究科助産学領域助教）



「子どもの身を守るためには、まず適切な知識を」という思いから、親向け性教育、子ども向け性教育のセミナーを様々な場所で開催している佐藤繭子さんに、ご講演いただきました。

■ 自分が考える「性教育」について考える

- ・ 男性が考える性教育のイメージと女性が考える性教育のイメージは違う。
- ・ 羞恥心はどこからくるのか？
- ・ 子どもの時どんなことを教えてもらいたかったか？

■ 「性教育」は「生（せい）教育」

- ・ 「生きるってどういうこと？」「どこから、どうやって生まれてきたの？」→基本的で、とても大事な質問。はぐらかされると、自分が大切な存在だと信じられなくなる。
- ・ 自己肯定感の低さは自分の“生”を否定し、“生”の否定は自己否定観を促進する。自己否定は順調な自我発達を阻害する。

■ 「あかちゃんはどこからくるの？」に答える

- ・ 「命はどこから来るのか？」自己の生を確認する質問に適切に答えることは自己肯定感アップにつながる。「生きるために生まれてきた大切な存在であること」を教えるためには、性交を伝えることは必須。

■ 性被害を防ぐ

- ・ 就学前から性教育を受けることで、性的虐待や搾取の犠牲にならずにすむ。
- ・ 家庭のなかで性の話をNGにしておく子どもは話してはいけないとことだと思ってしまう。
- ・ 幼いうちから性についての適切な知識を話すことで、マスコミや他人から間違った知識を植え付けられることを防ぐことができる。

中高年男性の私にとって「性教育の話」は少々身構えるテーマであった。日本人は「ひかえめ」をよしとする国民性もあり、性教育については世界と比べて後れぎみであると感じる。

「性教育は生（せい）教育&健康教育」であるという言葉が一番印象に残っている。講演では、適切な知識があれば性被害を防ぐ対策ができ、万が一被害にあったとしても適した対応がとれることや、子どもに伝えるためのツールとしてたくさんの絵本などを紹介された。言いにくい言葉は声に出して練習すること、小出しに何度も伝えること、嘘やはぐらかすことは絶対言わないことなど具体的に子どもへの伝え方を聞いた。へんな羞恥心は捨て「怒られるからかくす、言いにくいから言わない」をなくすべきだと感じた。

【古賀市男女共同参画輝きKogaネット
土岐洋二郎】

参加者感想

性教育のイメージが変わりました。性の健康を守っていくということで家族で話したいと思います。

本当に本当に勉強になったし、来て良かったです。子どもたちが性に対して正しい知識をもてるように、少しずつ明るく楽しく、和気あいあいと話していきたいなと思いました。

はずかしいと思わず、正しい知識を伝える事の大切さを学びました。自分自身も知識があいまいだったので学べてよかった。親が伝える大切さがわかった。

古賀市男女共同参画輝きKogaネットたより ぴか☆イチ

Vol.04

2018年10月発行

第2回男女共同参画セミナーを開催しました！

講演「メディアを読み解く」

講師：阪井俊文さん（社会学者、福岡ジェンダー研究所嘱託研究員、北九州市立大学非常勤講師）

テレビや雑誌などのメディアが人々のジェンダー意識や性に関する知識にどのような影響を及ぼしているかを研究し、多くの自治体や大学などでご活躍している阪井俊文さんに、ご講演いただきました。

■ メディアとは

「情報」を得るための主たる媒体。

■ メディアリテラシーとは

メディアによってもたらされる情報を批判的に読み解き、情報の信憑性を的確に判断し、有効に利用するための能力。（+メディアの特性を理解し、適切に発信する能力）

■ メディアリテラシー向上のために

問題のある表現（男女共同参画に逆行するような言説）にどのようなものがあるかを知り、そこに存在している社会構造を理解する必要がある。



【講師：阪井俊文さん】

本日のセミナー、「メディアを読み解く“メディアリテラシー”向上のポイント」は現代社会に生きる私たちにとって、必聴必見の講演でした。

レストランやホテルを探すときに、インターネットの口コミ情報は判断材料のひとつになります。でも実際に行ってみてがっかりしたり、逆に何も知らずに行っても素敵なお店に出会えたりもします。「メディアの殆どは、商業的意味に基づいた様式で作られる。」と阪井先生は示されました。消費者である私たちはその事を念頭に置かなくてはなりません。

また、ドラえもんやサザエさんから私たちは知恵やユーモア、そしてひと時の安らぎをもらいましたが、知らないうちに母親像、父親像、理想的な家庭像を植え付けられても来ました。この多様な現代社会では、みんな違ってみんないい、うちはうち、よそはよそ、とますます自覚して、情報に流されないようにしなければなりません。

セミナーをとおして、私たち自身のメディアリテラシーを高くし、自分の目や耳で本質を見聞きする姿勢を持たなければならないと思いました。自分の為、そしてこれからの世代の為に。

【古賀市男女共同参画輝きKogaネット江口真由美】

【参加者感想】



無意識にメディアの影響を受けていることを知ることができた。



わかりやすく楽しく聞かせてもらえました。同感することも多く、メディアに踊らされている自分に改めて気づきました。これからはアンテナを高くし、メディアリテラシーを意識して考えて行動しよう！と思いました。



古賀市男女共同参画輝きKogaネットたより

ぴ か ☆ イ チ

Vol.05

2018年12月発行

第3回男女共同参画セミナーを開催しました！

講演&ワーク

「もっと明日が好きになる！

私らしさに気づく魔法のレッスン」

講師：須藤美香さん（コラムニスト、コーディネーター）

米国発のポジティブ心理学を学び独立され、「自分らしく生きる」「女性の生き方を応援する」をテーマに、執筆やイベントのコーディネートを行われている須藤美香さんにご講演いただきました。

【私らしさに気づくために】

①モヤモヤの言語化

日頃なんだかモヤモヤ感じることを掘り下げて、自分の持っているモノサシ（基準）を知る。

②モノサシ（基準）はどこからきたのか？

親の教育？
「男性だから」「女性だから」？
刷り込まれた価値観？（「べき」像？）
自分の内面から生まれたもの？

③私らしさ、私の魅力の発見！

「好きな人・もの・こと」から私を知る



【講師：須藤美香さん】

日々の中で抱えるちょっとした不満や怒り、うまくいかないことなど何となくモヤモヤした感情を持つことは誰しもあること。

今やっていること、抱えていることは誰のために？何のために？やっているのか。そんな自分のモヤモヤを紙にどんどん書くことで（書く瞑想）感情の整理がつき、モヤモヤの正体の輪郭が見えてくる。そのモヤモヤの種を知ることで、今まで気づけなかった自分を発見することができて驚いた。困った顔のもう一人の自分にバッタリ会ったような気がした。

大変に面白いセミナーだった。講師の須藤さんの佇まいや自然で穏やかな話し方も素敵だった。

【古賀市男女共同参画輝きKogaネット 飯尾みどり】



【参加者感想】



自分のことを再認識できておもしろかった。

須藤さんにお会いできて嬉しかったです。ワークシート書けない部分もありましたが、とても楽しく充実した2時間でした。来年もがんばろうと思えました。

キラッとひかる人になりたいと元気ができました。

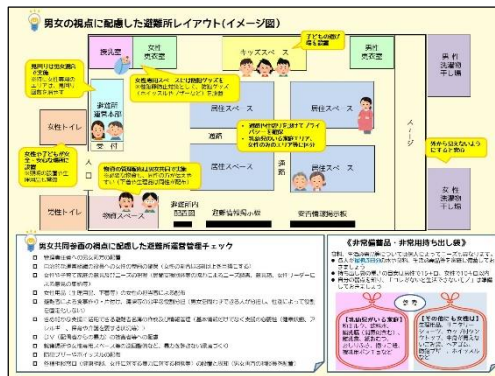
古賀市男女共同参画輝きKogaネット活動

古賀市男女共同参画輝きKogaネットとは

男女共同参画社会を実現することを目的として活動している団体です。

活動内容としては、市主催の男女共同参画フォーラムやセミナーなどの運営協力を行い「男女共同参画たよりぴか☆イチ」を発行しています。また、平成29年度には市と共同で「男女共同参画の視点を活かした地域で考える避難所づくり～その時あなたの力が必要です～」のパンフレットを作成し、まちづくり出前講座でも男女それぞれの視点で考える大切さを市民の皆様にお伝えしています。

作成した
パンフレット



フォーラム
&
セミナー



街頭啓発
&
出前講座

